

SIFA語学教室講師紹介

SIFAの語学教室では、年間を通して学べる「通年クラス」に加え、さまざまな言語を気軽に学べる「短期クラス」も開講しています。語学を学ぶだけでなく、講師との交流を通して、多様な文化や価値観に触れられることも魅力のひとつです。今回は、個性豊かな講師の先生方をご紹介します。



語学教室について

01

英語講師 南アフリカ出身 Douglas Rodger James

Q. 南アフリカの自慢したいところは？

A. 南アフリカの魅力は豊かな自然です。砂漠やサバンナなど多様な気候があり、私は半砂漠地帯の小さな町で育ちました。特に印象的だったのは故郷の赤い砂で、妹と遊んだ思い出が今も心に残っています。

Q. 最初に覚えた日本語は？

A. 10歳頃、最初に覚えた日本語は「空手」でした。その後、指導者と腕立て伏せやパンチ、キックの練習をしながら、「1～10」の数え方も覚えました。日本語が話せない指導者とのやり取りの中で覚えた言葉なので、今でも特別な思い出として残っています。



Rodger 先生



南アフリカの故郷ライム・エイカーズで、7歳のロジャー先生と5歳の妹さんが遊んでいる様子。砂漠にある小さな町で、大きなダイヤモンド鉱山があります。赤い砂にもご注目ください。



子ども英語クラスの様子

Q. 大人クラスと子どもクラス、それぞれ教える面白さは？

A. 子どもたちは会話やゲームを通して自然に言葉を覚えていきます。一方、大人クラスでは、受講生のみなさんとの会話を通して、お互いの文化や考え方を共有できることが面白さだと感じています。



ライム・エイカーズ
南アフリカ



Q. フラダンスの魅力を一言で表すと？

A. 「つながり」です。フラを踊ると、心と体、魂がひとつになり、歌詞や踊りを通して自分を表現できます。裸足で踊ることで人や大地、自然とのつながりを感じ、ハワイや自然の美しさの歌を通じて、深い感謝の気持ちが生まれます。



Shannon先生

Q. ハワイでおすすめの食べ物は？

A. ラウラウ、カルア・ピッグ、ロミ・サーモン、ポイなどの郷土料理です。地元で採れた食材を使い、その土地を大切に作る精神や、代々受け継がれてきた知識を尊重しながら作られる伝統的な料理です。そのため、時間をかけて丁寧に作られます。



Q. お気に入りの日本語

A. トップ3

「スゴイ」「大丈夫」「お疲れ様」



吹田市多文化共生ワンストップ相談センター



困っていることはありませんか？一人で悩んでいませんか？

子育て、教育、医療、福祉、仕事、在留資格など生活の中で困ったことに対応します。秘密厳守。無料です。

相談日時：

火曜日・水曜日：10:00～16:00 多言語相談員が対応します。

対応言語：英語、中国語、韓国語、朝鮮語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語

月曜日・木曜日・金曜日：10:00～16:00 協会スタッフが対応します。

対応言語：日本語、英語、中国語など他の言語での対応もします。

まずはお気軽にご相談ください。

場所：公益財団法人 吹田市国際交流協会(SIFA)

(吹田市津雲台1-2-1 千里ニュータウンプラザ6F、阪急南千里駅すぐ)

受付方法：対面、電話(06-6835-1770)、メール(soudan@suita-sifa.org)

※専門家相談(行政書士、社会保険労務士、弁護士)は、月ごとに交代してあります。

ご相談はこちらから



多文化いろいろ

このコーナーでは、多文化理解や多文化共生に関する様々な情報をご紹介します。

対話を通じた学び「コレージオ パウロ・フレイレ」

～エリアネさん（元SIFA相談コーディネーター）のブラジルでの体験より～

エリアネさんは、ブラジル在住の親の体調不良を心配して、2022年に4ヵ月間ブラジルに当時小学校2年生の娘さんと中学2年生の甥御さんと一緒に連れて行くことを決めた。娘さんの担任に相談すると、「ブラジルに行くことの方がとても良い経験・学びになる、ぜひ連れて行きなさい」とエリアネさんの気持ちを後押ししてくれ、ブラジル滞在中は学習プリント等をメールで毎日送付してくれたそう。ブラジルでは、親戚が紹介してくれた「コレージオパウロ・フレイレ（パウロ・フレイレの学校）」に通うことになった。校名に掲げられているパウロ・フレイレは、教師が生徒に一方的に知識を詰め込む（＝預け入れる）ことを繰り返す「銀行型教育」に批判的なブラジルで著名な教育思想家・哲学者。



エリアネさんが学校で初日に眼にしたのは、日本からやってきた言葉のわからない二人を学校に迎え入れるにあたって、「どうしたら二人が自分たちを仲間として感じてくれるのか、孤独にならないのか」を教師と生徒みんなで対話する様子だった。言葉がわからないことを理由に一人にはさせない…ブラジルの文化なのか、その学校の文化なのかはわからないが、エリアネさんは「多様な人びとが暮らすブラジル社会に必要な包摂（inclusion）を大切にしている場所だとわかり、とても穏やかな気持ちになった」と実感した。教科学習は確かに遅れているようだったが、他者への自分の気持ちや考えの伝え方、話の聴き方、異なる意見をどのように着地させるのか…そういった対話のスキルこそ、子どもたちに「今」学んでほしいことだと強く感じたと述懐していた。（SIFA事務局長：大橋）

※参考『新訳 被抑圧者の教育学』パウロ・フレイレ著 三砂ちづる訳 亜紀書房 2011

映画『ロスト・イン・トランスレーション』

監督・脚本 ソフィア・コッポラ



映画

見慣れた日本の風景は、本当に同じように見えているのでしょうか。

この映画は、日本を訪れた外国人の視点から、慣れない土地での戸惑いや静かな孤独を描いています。日本に住む私たちにとって当たり前の景色も、この作品を観るとどこか異国の風景のように感じられます。それは、普段気づかない「外からの視点」に触れるからかもしれません。“Lost in Translation”——その意味は、ぜひ映画を観て感じてみてください。（SIFA職員：梶）

SIFAの主な事業



1. 多文化共生の推進

異なる背景をもつ多様な人々が尊重し合い、寛容で包摂的な多文化共生社会の形成

吹田市多文化共生ワンストップ相談センター

行政手続き、雇用、医療、福祉、出産、子育て、教育等、生活に関わるさまざまな情報や相談について、多言語でアクセスできる窓口の運営

コミュニティ通訳同行コーディネーター事業

行政通訳や病院通訳のコーディネーター

ハロハロSQUARE

外国につながる子どもの居場所づくり及び学習支援事業

こあらくらぶ

子育て中の外国人住民が安心して交流・情報交換できる子育て交流事業

多文化防災・減災事業

防災に関するイベントや講座や研修などを実施し、外国人住民と地域住民がともに防災について学び、災害時に支え合える体制づくりを推進

語学教室

多様な文化や人との出会いを通して多文化共生社会に接し理解することを目指す語学教室（英語、中国語、韓国語、ベトナム語、スペイン語などの各クラス）の運営

2. 市民主体の人づくり・地域づくり

ボランティア活動を通じた持続可能な社会の形成

- ・ボランティアによる日本語交流活動
- ・日本語教師による地域日本語教室の運営
- ・吹田市内の日本語教室との連携
- ・吹田市内の中学校からの職場体験の受け入れ事業
- ・多文化理解、人権尊重、国際理解講座への講師派遣事業
- ・イベントやセミナーの開催・参加を通じた地域との交流事業
- ・研修やセミナーによるボランティアの養成・スキルアップに関わる事業

3. 多言語による情報発信

「ことばの壁」「制度の壁」「こころの壁」を超えることを目指す多言語情報発信

- ・ホームページ、Facebook、Instagramによるタイムリーな情報発信
- ・SIFA Times 紙媒体の機関紙発行（年4回発行）
- ・ミミヨリINFO…外国人住民向けの生活に役立つ情報メールの配信



Web



Facebook



Instagram



賛助会員になってSIFAを応援してください！

当協会の理念にご賛同いただける「賛助会員」へのご登録をお願いしています。お預かりした会費は、人権尊重を基盤とし、多様な背景を持つすべての人が安心して共に暮らせる地域社会の実現を目指す当協会の公益事業全般に充当されます。何口でもお申込みいただけます。

年会費 (毎年度4月～翌年3月まで)	個人会員 1口：3,000円
	法人会員 1口：10,000円

- ① クレジット決済は右のHPから個人または法人会員を選択し決済画面に進んでください。
- ② SIFA事務局…窓口での受付は月曜日～金曜日、9:00～17:30です。



※同居する家族内にどなたか1名が賛助会員であれば、他の家族も語学教室受講料について、会員価格が適用されます。ただし、SIFAボランティア活動に参加される方は、同居される家族に関わらず個人で賛助会員にご加入ください。

公益財団法人

吹田市国際交流協会 SIFA

(Suita International Friendship Association)

〒565-0862 吹田市津雲台1-2-1 千里ニュータウンプラザ6F

OPEN Mon-Fri 9:00-17:30

info@suita-sifa.org

https://suita-sifa.org

06-6835-1192

FAX 06-6835-6420

